

福岡県

防災講演会

「シニア災害ボランティアセミナー」

開催報告

平成29年9月1日（金）、八重洲博多ビルにて福岡県と当協会主催による「福岡県防災講演会」シニア災害ボランティアセミナー」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、藤田福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課長と当協会の吉田理事長が挨拶し、続いて国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 活断層評価研究グループ長 宮下 由香里氏による講演と減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子氏の講演が行われました。



講演 1
13:40～14:40
「足下に活断層がある！」と知ったとき、どうしますか？

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
活断層・火山研究部門
活断層評価研究グループ長

宮下 由香里氏

活断層が地震を起こす仕組みと活断層の種類による地震の特徴を説明、熊本地震を活断層調査の面から解説され、自分自身で活断層を認識して防災対応をイメージすることの重要性を講演いただきました。



宮下 由香里氏

栃木県宇都宮市出身。新潟大学理学部、愛媛大学大学院理学研究科、大阪市立大学大学院理学研究科を経て、1997年より通産省工業技術院（現産業技術総合研究所）に科学技術特別研究員として勤務。2014年より現職。専門は地質学と古地震学。

講演 2
14:50～15:50

避難（所）生活で犠牲者を発生させないために
「国のガイドラインも踏まえた支援のあり方とは？」

減災と男女共同参画研修推進センター

共同代表 浅野 幸子氏

避難所生活で犠牲者が出ている現状を踏まえ、避難所生活の厳しい実態を紹介されながら、高齢者、持病・障害のある人、女性（若い女性を含む）等の犠牲者となるリスクが高い人々をどのようにケアしていくか、そのためにどのような体制を整備するか、特にネットワーク型組織の有用性や女性リーダー育成の重要性について講演いただきました。



浅野 幸子氏

阪神・淡路大震災の際に国際協力 NGO のスタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会の支援などに4年間従事。2011年に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加し、現在はその後継団体の共同代表を務める。

地震と活断層に係わる知識とそれを踏まえた防災対応、避難所生活での対処法などを講演いただき、地震等大規模災害発生時の災害ボランティアの在り方を考えるうえで大変有意義なシンポジウムとなりました。